

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：平成26年5月15日(木)14:15~14:54

場所：長野県飯田合同庁舎 502・503号会議室

1 開 会…14:15

【出席者】14市町村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕有賀所長・松田副所長・丹羽地域政策課長・石田リニア推進幹

〔飯田保健福祉事務所〕北澤副所長

〔飯田建設事務所〕山岸所長

〔飯田市〕清水総合政策部企画課長補佐

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕桂消防長・関島消防次長

〔飯田環境センター〕米山事務長・中原管理係長

【事務局】渡邊事務局長・吉川事務局次長・塚平事務局次長補佐兼企画調整担当専門主査・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・片桐庶務係主事

2 広域連合長挨拶

阿南町の勝野新町長には広域連合としてお祝い申し上げる。広域連合の一員としてご活躍を期待している。基本構想・基本計画について、先日リニア将来ビジョン策定時の有識者の皆様をお迎えし、市町村長との意見交換を行った。後ほどその報告もさせていただく。「広域連合の現況」がまとまったのでお配りした。確認いただければと思う。

勝野阿南町長の挨拶

3 協議事項

(1) 「多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」について（資料1）

…飯田医師会 市瀬会長・牛山担当理事

今回のお願いの主旨は、「在宅チーム医療を担う人材育成事業」に係る補助金を飯田医師会が一括して申請すること、並びにこの事業の推進体制をつくることの2点を了解いただきたいというもの。

全市町村が、来年度の介護保険計画から地域包括ケアシステムを構築するために、平成24年度から在宅医療を担う人材育成事業が始まり、その一環として開催された在宅医療地域リーダー研修会には飯田医師会から4名、市町村職員9名が参加し地域リーダーとなっている。それを受け、飯田医師会では在宅医療、とくに看取りに関するシンポジウムを昨年10月に開催。さらには今年3月、飯田市介護高齢課と協力して在宅医療研修会を開催し、その中で多職種検討会を行うなど、在宅医療推進の取組を実施してきている。

今年4月14日付で長野県健康福祉部から、人材育成事業に係る補助金申請の案内が届いている。添付資料(1-2)にあるとおり、医療と在宅介護の切れ目のない連携が本事業の目的であり、医師会、市町村、保健福祉事務所が協力し、地域リーダーが中心となって「在宅医療多職種連携会議」等を企画することで人材育成を行うという内容になっている。詳細は添付の実施要綱をご確認いただきたい。

補助金の申請期限が5月30日と切迫している。地域包括医療センター1箇所あたり30万円、医師会1箇所当たり50万円が確保されており、南信州広域全体で560万円の申請が可能である。実施主体は原則市町村であるが、合意が得られた場合は広域連合や医師会が主体となり得る。広大な南信州広域内でこの事業を遂行するには、①広域全体を対象とした研修、②在宅医療チームの後方支援病院を単位としたブロック研修、③各市町村の地域包括支援センター単位の研修が必要になるが、少なくとも

も①と②については広域的調整が必要であり、各自治体の守備範囲を超えている。

これらの事業を飯田医師会の全面的協力で推進することを希望されるのであれば、補助金を漏れなく確保するために医師会が実施主体となること、医師会と各市町村の包括支援センター代表者が参加する運営会議を設置すること、以上2点をお認めいただきたい。

【質疑なし】依頼について承認された。

(2) 平成26年広域連合議会第1回臨時会について（資料2）

…資料による説明（吉川事務局次長）

5月7日に議会運営委員会が開催され承認を受けた。5月19日（月）午後1時から広域消防本部にて開催。臨時会のため一般質問無し。3時から町村議長会が予定されている。当日の日程は、平谷村議会の選挙により議員が替わったため、議席の指定、議会運営委員の選任を行う。そのほか3月に行われた行政監査の監査報告、案件については報告1件、条例案件1件。報告は救急車の事故による損害賠償の額を定める事の専決処分について。条例案件は、広域連合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について。裏面が全員協議会の予定である。

【質疑なし】

(3) 「南信州いいむす21」登録判定事業所の概要（資料NO.3）

…資料による説明（秦野次長補佐）

登録事業所の更新について、審査で「適合」と認められた3件の承認。

- ・株式会社 丸久 龍江工場・・・上級更新
- ・有限会社 飯田スクリーン工業・・・中級更新
- ・勝間田建設株式会社・・・中級更新

【質疑】3件について承認された。

(9) その他で出された質疑

・登録事業所は増える傾向にあるのか、また広域連合として増やしていくつもりなのか。登録を受ける事業所の負担はあるのか。

→現状として、登録を受ける事業所の数は横ばい状態。取組が始まってから年数が経過しており、今年度は事務局と、取組を主体的に行っている「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」との間で、今後の進め方について検討を進めていく予定。登録に当たっての費用としては、各級により審査料が発生し、金額は数千円程度。（秦野補佐）

→年度当初に申し上げたとおり、事務事業の点検をしていく中で、この「いいむす」を含めた環境への取組についても検討するよう指示してある。最終的には来年度になってしまうかもしれないが、今後の方針が固まった段階でこの場にお諮りする。（事務局長）

→「地域ぐるみ環境 ISO 研究会」という企業のグループと一緒にやっている取組であり、その方たちの思いも大事にしなければならない。むこうから見れば、広域連合から登録の「お墨付き」を与えてもらっているという関係もあるので、実際に取り組む企業の思いも取り入れながら考えていけばよい。（連合長）

(4) 平成26年4月末火災概況について（資料4）

…資料による説明（関島消防次長）

4月30日現在、火災件数は51件で前年比9件減。3、4月に多く発生している点は例年と同様である。5月に入り4件発生し、現在55件で昨年同日比14件減。種別で見ると建物火災が4件増加、林野、車両、その他の火災は減少している。たき火等、屋外での火の取扱いが原因であるものが51件の内29件で、前年比6件減。主な火災の原因はたき火によるものが28件と突出している。人的被害については死者3名、内訳は建物火災2名、その他1名。関連し、住宅用火災警報器の設置推進については、新たに調査方法が定められたことを踏まえ、普及啓発及び維持管理広報を引き続き実施する。

たき火火災ゼロ運動は昨年に引き続き2月1日から4月30日まで実施した。広報活動等を通じ、火災発生の抑止に努める。

【質疑なし】

(5) 後援依頼について (資料5、5-2)

…資料による説明 (北原次長補佐)

- ・第11回口腔ケア講習会 6月8日(日)飯田下伊那歯科医師会館…事前連合長決裁済み
- ・「6月1日に風越山を撮ろう！」 6月1日に風越山を撮ろう実行委員会

【質疑なし】後援が承認された。

(6) 広域計画(基本構想基本計画)策定委員会の報告について(資料6)

…資料による説明(渡邊事務局長)

これまでに開催した2回の策定委員会の報告をまとめた。2回目は5月10日に多くの市町村長さんにご出席いただいた。この2回まではオリエンテーション的な部分であり、次回から本格的な議論が始まる。その結果は連合会議、又は部会に諮りながら進めていきたい。

【質疑なし】

(7) 国道整備状況説明会について(資料7)

…資料による説明(渡邊事務局長)

資料に南部国道連絡会、上部団体の中部国道連絡会の今年度スケジュールが記載してある。南部国道連絡会については今年7月から2年間、南信州が事務局となるため、総会及び意見交換会等の日程確保にご配慮をお願いする。

総会は7月17日(木)に開催される。先般、現事務局である木曾で事務局会議が開かれた。総会終了後の意見発表の担当路線について、下伊那圏域は国道151、152、418、474となった。152については当初上伊那担当であったが、伊那市長が当日欠席により下伊那で引き受けた。例年、木曾3路線、上下伊那で各3路線となっており、153については上伊那が担当しているが、リニア、三遠南信のアクセス道路の関係もあるため意見発表をさせてほしいと伝え、了承をいただいた。飯田市建設部も了解済みであるが、来年度については当圏域で発表する予定である。今年度の発表者について、151は阿南町長、152は大鹿村長、418は売木村長、474は飯田市長にお願いしたい。具体的な内容等については土木振興会等々も交え、相談させていただく。

【質疑なし】承認された。

(8) 「南信州広域連合の現況」について

…冊子の説明(吉川次長)

毎年度作成しており、広域連合で行う共同事務の報告書のようなもの。それぞれの事務事業の数値データが掲載されているのでまた御覧いただきたい。最後に「当面する主な課題」として、現在取り組んでいる課題等について触れている。この冊子については全員協議会でも紹介する。

【質疑なし】

(9) その他(渡邊事務局長)

4月に実施した岡山、徳島方面への研修視察について、大変忙しい中、職員を派遣していただいたことにお礼を申し上げます。参加職員には、市町村長を経由して復命書を提出するよう伝えてあるので、しつかり内容を御覧いただきたい。非常に有意義な研修となり、今後に活かしていきたい。

4 長野県から「長野県リニア中央新幹線地域振興推進本部について」

…下伊那地方事務所 丹羽地域政策課長の説明

県では、本年度4月1日に「長野県リニア中央新幹線地域振興推進本部」を設置した。知事を本部長、副知事を副本部長とし、ほか関係部長、及び下伊那地方事務所長で構成される。また上伊那、下伊那、木曾地域における、現地レベルでの広域的な調整及び連携を図るため、3地域の地方事務所長及び建設事務所長で構成する「現地推進本部」が設置され、下伊那地方事務所長が本部長を務める。本部会議が4月18日に県庁で、現地推進本部会議が4月25日飯田合同庁舎で開催された。

地域振興推進本部における取組の一つの柱が地域振興の推進。「長野県リニア活用基本構想」に掲げた方針・取組の具体化の一例として、「工程表」の作成を挙げている。現地におけるリニア整備を契機とした広域的な地域振興については、現地推進本部を中心に対応していく。

二つ目の柱が建設工事への対応。今後見込まれる工事実施計画の認可、工事着手においては、環境対策、許認可事務、県内経済への波及拡大等に対する情報共有・連携による適切な対応が必要。また、リニア事業の進捗に伴い発生する課題への総合的な対応が必要になる。関係機関と連携を密に取り、現地推進本部の機能が発揮できるよう取り組む。

【質疑】

・先日の有識者との意見交換でも話に出たが、「いろいろな計画はあるが主語がない」「誰がいつまでにやるというのがない」という意見もいただいているようだ。誰が責任を持ってやるのかを、しっかり打ち出してほしい。

→「基本構想」という位置付けであるが、実現させるには「誰がいつまでにやるのか」が必要になる。県がやるべきものとそうでないもの、作成する工程表の中で明確になってくるものもある。この会議では県が率先してやるべきものに取り組んでいく。飯田市、広域連合、自治体会議等、様々な主体と連携しながら、主語として、誰がやるのかを明確にしながらやっていきたい。(有賀地方事務所長)

5 今後の日程

5月19日(月) 広域連合議会第1回臨時会

6月13日(金) 広域連合会議

6月25日(水) 「南信州地域交通問題協議会 総会」

場所 飯田消費生活センター2階会議室

時間 午後2時00分～午後3時20分

「公共交通に関する講演会」(題目未定)

講師 名古屋大学大学院 加藤准教授

場所 飯田消費生活センター2階会議室

時間 午後3時30分～午後5時00分

6 閉会…14:54